

## 回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第3号	令和6年4月10日	伊予市役所	総務部 危機管理課
題 目(テーマ):災害関連死を減らすための対応策			
提 案 理 由(要旨)			
<p>能登半島大地震以降も日本列島は震度4以下の地震が続いています。愛媛県も今年に入り、震度4以下の地震が2回発生しています。</p> <p>いつやってくるか分からない南海トラフ大地震への備えとして、自身は地域内で講演会を実施し備えを働きかけています。災害関連死とは、地震や津波などによる直接的な原因ではなく、災害による怪我や避難生活による健康状態の悪化が原因で亡くなることを言います。熊本地震では、直接の死者数50人を上回る218人が災害関連死で命を落とされました。その内、約8割が70歳以上の人だった。能登半島地震では、TKB48の対応も進捗していたので、15人(死者238人⇒圧死41%)と少人数であった。</p> <p>伊予市においては、TKB48の対応準備がどこまで進捗しているか教示願いたい。</p> <p>&lt;対応策&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 TKB48の推進強化</li><li>2 高齢者独居老人、身体障害者は避難所ではなくホテルで避難させる。</li><li>3 行動できない避難者は、耐震シェルターを設置させる。(添付資料参照)</li></ol>			
回 答 内 容			
<p>「災害関連死を減らすための対応策」に関して貴重な御意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>「避難所・避難生活学会」が災害関連死を防ぐキーワードとして提唱しているTKB48とは、T(トイレ)、K(キッチン=食事)、B(ベッド)で、48は「48時間以内に整備する」を意味しています。</p> <p>本市のTKB48対策としましては、</p> <p>T(トイレ) 簡易トイレ 約400個、携帯トイレ 約11,000個</p> <p>K(キッチン=食事) 主食 約8,200食、副食 約9,500食</p> <p>B(ベッド) 簡易ベッド 約440台、段ボールベッド 約630台</p>			

を備蓄しており、まずは初動として発災後 3 日分の物資確保に努めております。その他の物資についても、毎年必要数量を購入していますが、現状の備蓄物資の点検と更なる充足を図るべく、個々の品目と数量はもとより、48時間以内に整備できることも考慮し、地域ごとの実情に応じた備蓄内容となるよう、目標の見直しに着手しているところであります。

その他御提案のホテルへの避難や耐震シェルター設置は、自らの命は自らが守る「自助」の取組みとして情報発信に努めたいと存じます。